

戦後教育資料

II-98

II
98

昭和二十一年三月

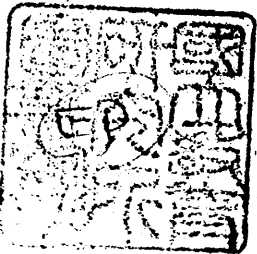
送りがなのつけ方(案)

2-4
93

文
部
省

山崎	278
----	-----

II-98



本省で編修または作成する各種の教科書・文書などの國語の表記法を統一し、その基準を示すために、

- 一、送りがなのつけ方(案)
- 二、くぎり符號の使ひ方(句讀法)(案)
- 三、くりかへし符號の使ひ方(をどり字法)(案)
- 四、外國の地名・人名の書き方(案)

の四篇を印刷に附した。この案はその一つである。

諸官廳をはじめ一般社會の用字上の參考ともなれば幸である。

(文部省教科書局調査課國語調査室)

は し が き

一、この「送りがなのつけ方」は、國語を書き表はすのに漢字を用ひる場合、單語としてどの部分を漢字で記し、どの部分をかなで示すかについて、現代の口語文に適するやうに基準を定めたいものである。

一、この「送りがなのつけ方」は、通則と用例との二部から成る。

一、通則は、おほむね單語の品詞別に従つて、できるだけ簡單なものとした。

一、用例は、それぞれの語の五十音順に掲げた。括弧の中は、参考になる例を示したもの、△印をつけたかなは、文章の種類により、その他必要のある場合には、省き得るもの、傍線をつけたものは、かな書きにすることが望ましいものである。

一、用例の中に掲げてない語の書き表はし方は、通則によつて判斷するものとする。また用例の中に漢字を用ひてある語について、その漢字をかなに改めて書くことは、もとより妨げない。

送りがなのつけ方

〔通則〕

第一動詞の送りがな

一、動詞は活用語尾を送る。

〔例〕 書く。起きる。受ける。勉強する。

二、活用語尾を送るだけでは、誤讀、難讀のおそれのある動詞は、その前の音節から送る。

〔例〕 表はす。現はす。

三、活用しない部分に、他の動詞の活用形をふくむ動詞は、そのふくまれてゐるものの語尾から送る。

〔例〕 動かす。傳はる。喜ばす

〔注意〕 右において、誤讀、難讀のおそれのないものは、そのふくまれてゐるものの語尾を送らない。

〔例〕 浮ぶ 押へる 捕へる 振ふ 向ふ 分る

四、活用しない部分に、他の動詞の活用形に準ずるもの（語尾の音が變化してゐるもの）をふくむ動詞は、そのふくまれてゐるものの語尾から送る。

〔例〕 肥やす、及ぼす、減ぼす、加はる、定まる、始まる

〔注意〕 右において、誤讀、難讀のおそれのないものは、そのふくまれてゐるものの語尾を送らない。

〔例〕 荒す 起す 積る 果す

五、活用しない部分に、形容詞の語幹をふくむ動詞は、そのふくまれてゐるもの以外をかな書きとする。語幹が「し」で終るものは、「し」から送る。

〔例〕 近づく 遠のく 重んずる 赤らめる 怪しむ 悲しむ 苦しがる

六、活用しない部分に、副詞をふくむ動詞は、副詞としての送りがないから送る。

〔例〕 確かめる

七、活用しない部分に、名詞をふくむ動詞は、そのふくまれてゐるもの以外の部分をかな書きとする。

る。

〔例〕 指さす 先だつ 先んずる 春めく 黄ばむ

〔注意〕 「象どる」「司どる」「貫ぬく」「伴なふ」「荷なふ」「實のる」「基づく」「畫がく」

などは、それぞれの漢字を、動詞を表はすものと見て、活用語尾だけを送つても差支へない。

八、動詞と動詞と複合したものは、前にも後のにも送りがないをつける。

〔例〕 思ひ立つ 譲り渡す

〔注意〕 右において、前の動詞が二音節で、接頭語のやうに用ひられてゐるもの及び誤讀のおそれのないものは、その送りがなを省くことができる。

〔例〕 (イ) 差出す 引受ける

(ロ) 成立つ 割當てる

第二 形容詞の送りがな

一、形容詞は活用語尾を送る。

〔例〕 白^し。強^し。無^し。

二、語幹が「し」で終る形容詞は「し」から送る。

〔例〕 美^しい。悲^しい。苦^しい。

三、活用語尾を送るだけでは、誤讀、難讀のおそれのある形容詞は、その前の音節から送る。

〔例〕 大^きい。小^さい。暖^かい。冷^たい。細^かい。

四、活用しない部分に、動詞の活用形をふくむ形容詞は、そのふくまれてゐるものの語尾から送る。

〔例〕 勇^ましい。騒^がしい。喜^ばしい。

〔注意〕 右において、誤讀、難讀のおそれのないものは、そのふくまれてゐるものの語尾を送らなす。

〔例〕 忙^しい。戀^しい。

五、活用しない部分に、動詞の活用形に準ずるもの（語尾の音が變化してゐるもの）をふくむ形容詞は、そのふくまれてゐるものの語尾から送る。

〔例〕 恐^ろしい。頼^もしい。

〔注意〕 右において、誤讀、難讀のおそれのないものは、そのふくまれてゐるものの語尾を送らなす。

〔例〕 荒^い。悔^しい。

六、副詞をふくむ形容詞は、副詞としての送りがなから送る。

〔例〕 甚^だしい。

七、活用しない部分に、名詞、形容詞の語幹をふくむ形容詞は、そのふくまれてゐるもの以外の部分をかき書きとする。

〔例〕 (イ) 際^どい。平^たい。

(ロ) 古^めかしい。軟^かい。

八、動詞と形容詞と複合したものは、その動詞にも、形容詞にも、送りがなをつける。

〔例〕 聞^き苦^しい。

第三 副詞・接續詞の送りがない

一、副詞、接續詞は最後の二音節を送る。

〔例〕先づ。若し。殊に。必ず。併し。但し。尤も。

〔注意二〕二音節の副詞、接續詞のうち、次のやうなものには送らない。

〔例〕又。唯(只)

〔注意三〕名詞としても、副詞としても用ひられる次のやうなものには送らない。

〔例〕今。元。昔。皆

二、「に」を送るだけでは、誤讀のおそれのある副詞は、その前の音節から送る。

〔例〕直ちに。新たに。徒らに。

三、「かに」「やかに」「らかに」などのついた副詞は、これらを送る。

〔例〕静かに。豊かに。賑やかに。滑らかに。

〔注意二〕右の種類の語が、「な」「で」などの語尾をとる場合も、同様に「か」「やか」「らかに」の

部分から送る。

〔例〕静かな。静かで。賑やかな。賑やかで。滑らかな。滑らかで。

〔注意三〕「やかに」「らかに」のついた副詞のうち、次のやうなものは、慣用によつて、「や」

「ら」を省くことができる。

〔例〕鮮やかに。穩やかに。爽やかに。健やかに。速やかに。

明らかに。朗らかに。詳らかに。

四、副詞、接續詞の語尾に、更に助詞、接尾語が加はつて、別の副詞、接續詞となつてゐるものは、もとの副詞、接續詞の送りがないから送る。

〔例〕必ずしも。若しも。

併しながら。若しくは。

五、活用語と關係のある副詞、接續詞は、その活用語の語尾を送る。

〔例〕餘り。始め。絶えず。盛んに。

依つて。従つて。就いては。並びに。及び。

〔注意〕◎印は音便形である。

六、副詞の一部分に、名詞、形容詞の語幹をふくむものは、そのふくまれてゐるもの以外の部分をかな書きとする。

〔例〕(イ)手づから

(ロ)浅はかに

第四 名詞の送りがない

一、本来の名詞は、かなを送らない。

〔例〕紙 時 銅 思 山里 品物 國民 性格

二、活用語から轉じた名詞(複合名詞をふくむ)は、原則として活用語本来の送りがないをつける。

〔例〕動き。調べ。残り。苦しみ。生き物。物知り。歩み。寄り。

三、活用語から轉じた名詞(複合名詞をふくむ)のうち、誤讀、難讀のおそれのないものは、その送りがないの一部又は全部を省くことができる。

〔例〕見合せ(「合はせ」の「は」を省いたもの)

打合せ(「打ち」の「ち」と「合はせ」の「は」を省いたもの)

組 答 話 日 附 勤 人 申 込

四、形容詞の語幹に、「さ」「み」「け」「げ」などがついて、名詞となつてゐるものは、これらのかなを送る。語幹が「し」で終るものは、「し」から送る。

〔例〕暑さ。親しさ。甘み。寒け。眠け。惜しげ。

五、数を数へる語尾の「つ」は送る。

〔例〕一つ。二つ。三つ。四つ。五つ。幾つ。

備考 以上に掲げた以外の品詞、代名詞、連體詞、感動詞並びに助動詞、助詞は、漢字を用ひないのを原則とする。

〔用例〕

あかす
あがなふ
あからめる
あがる
あかるい
あきなふ
あきらかに
あけがた
あさはかに
あさましい
あさやかに
あたたかい

明かす(明く)(明ける)
購ふ
赤らめる(赤い)
上がる(上げる)(揚がる)
(揚げる)(擧がる)(擧げる)
明かるい
商なふ
明らか
明け方
浅はかに(浅い)
浅ましい
鮮やかに
暖かい 温かい

あたたかに
あたたまる
あたらしい
あたる
あちはひ
あちはふ
あづかりきん
あづかる
あづけきん
あつまり
あつまる
あとかたづけ

暖かに 温かに
暖まる(暖める) 温まる
(温める)
新しい
當る(當てる)
味はひ
味はふ
預り金(預金)
預かる(預ける) 與る
預け金(預金)
集まり
集まる(集める)
後片附

あはせて 副詞
あはせる
あへて
あまり 名詞・副詞
あまりに
あまんずる
あみもの
あやしがる
あやしむ
あらい
あらかじめ
あらす
あらたに

あはせて 副詞
合はせて 併せて
合はせる
敢へて
あまり 名詞・副詞 餘り(餘る)
あまりに 餘りに
あまんずる 甘んずる(甘い)
あみもの 編み物
あやしがる(怪しい)
あやしむ 怪しむ
あらい 荒い(荒れる)
あらかじめ 豫め
あらす 荒す
あらたに(新手)

あらたまる
あらはす
あらはれる
いかす
いきすぎ
いきほひ
いきもの
いくつ
いさなふ
いさましい
いそがしい
いたつて

改まる(改める)
表はす 現はす 著はす
表はれる 現はれる
生かす(生きる) 活かす
(活きる)
いきすぎ 名詞 行き過ぎ
いきほひ 名詞・副詞 勢ひ 名詞 勢ひ 副詞
いきもの 生き物 生物
いくつ 幾つ
いさなふ 誘ふ(誘ふ)
いさましい 勇ましい(勇む)
いそがしい 忙しい
いたつて 副詞 至つて

いたづらに
 いたましい
 いちじるしい
 いづくしむ
 いつつ
 いひかた
 いひわたし
 いまはしい
 いやしむ
 いる
 いろどる
 うかぶ

徒らに
 痛ましい(痛む)
 著しい
 慈しむ
 五つ
 言ひ方
 言渡し
 思まはしい(思む)
 卑しむ(卑し) 賤しむ
 (賤し)
 要る 入る
 色どる、彩る
 浮ぶ(浮く)

うかる
 うきくさ
 うきあし
 うけいれ
 うけおひ
 うけつげ
 うけとり
 うけとる
 うけもち
 うけわたし
 うごかす
 うごき
 うすらぐ

受かる(受ける)
 浮草
 浮足
 受入れ
 請負
 受付
 受取
 受取る
 受持
 受渡し
 動かす(動く)
 動き
 薄らぐ(薄い)

うたがはしい
 うたがひ
 うちあはせ
 うちあひ
 うちきり
 うづまる
 うづもれる
 うまる
 うまれる
 うめあはせ
 ちらなふ
 ちらやまし
 ちらめしい

疑はしい(疑ふ)
 疑ひ
 打合せ(打合會)
 打合
 打切り
 埋まる(埋める)
 埋もれる
 埋まる(埋める)
 生まれる(生む)
 埋合せ
 占なふ
 美ましい(美む)
 恨めしい(恨む) 怨めしい

うりだし
 うりをしみ
 えらぶ
 おいて
 おきもの
 おくまる
 おこす
 おこそかに
 おこる
 おさへる
 おそらく
 おそろしい

(怨む)
 賣出し
 賣惜しみ
 選ぶ(選る)
 於いて
 置物
 奥まる
 起す(起きる)
 厳かに
 起る(起きる)
 押へる(押す)
 恐らく(恐れる)
 恐ろしい

おだやかに
 おちつき
 おとしもの
 おとす
 おとづれる
 おのづから
 おほいに
 おほきい
 おほむね
 おほよろこび
 おほむらひ
 おもひたつ
 おもひで

穏やかに
 落着き
 落し物
 落す(落ちる)
 訪れる
 自ら(自ら)
 大いに
 大きい
 概ね
 大喜び
 大笑ひ
 思ひ立つ
 思ひ出

おもむろに
 おもんずる
 および 接續詞
 およぼす
 おろそかに
 かうばしい
 かがまる
 かがやかしい
 かかり
 かかる
 かきかた
 かきつけ

徐ろに
 重んずる(重い)
 及び(及ぶ)
 及ぼす(及ぶ)
 疎かに
 香ばしい
 屈まる(屈める)
 輝かしい(輝く)
 掛係
 掛る(掛ける) 懸る(懸ける)

かきもの
 かけきん
 かけもの
 かさなる
 かしかた
 かしや
 かすかに
 かたどる
 かたまる
 かたらふ
 かちまけ
 かつ 副詞・接續詞
 かなしさ

書き物(書物)
 掛け金
 掛け物
 重なる(重ねる)
 貸方
 貸家
 微かに
 象どる
 固まる(固める)
 語らふ(語る)
 勝ち負け
 且つ
 悲しさ(悲し)

かなしみ
 かなしむ
 かならず
 かならずしも
 かねて
 かはる
 かひしめ
 かひだし
 かひだめ
 かへつて 副詞
 かへりみる
 がへんずる

悲しみ
 悲しむ
 必ず
 必ずしも
 兼ねて 豫て
 變る(變へる) 代る(代へる)
 買占め
 買出し
 買溜め
 却つて
 省みる 顧みる
 肯ずる

かよひちやう 通ひ帳(通帳)
 からす 枯らす(枯れる)
 かりに 假りに
 かるんずる 軽んずる(軽い)
 かんがみる 鑑みる
 かんばしい 香ばしい
 きこえる 聞える(聞く)
 きたす 来たす
 きたる 来たる(来る十日)(来る)
 きはどい 際どい
 きはまる 極まる(極める)
 きばむ 黄ばむ
 きはめて 極めて(極める)

きまる 決まる(決める) 極まる
 きよらかに 清らかに(清い)
 きりかへ 切替
 くぎづけ 釘付け
 くはしい 委しい 精しい
 くはせる 食はせる(食ふ)
 くははる 加はる(加へる)
 くみ 組(組む)
 くみあはせ 組合せ
 くみあひ 組合
 くみたて 組立(組立式)
 くやしい 悔しい(悔いる)

くやみ 悔み
 くやむ 悔む
 くらし 名詞 暮し
 くらす 暮す(暮れる)
 くりあげ 繰上げ
 くりいれ 繰入れ
 くりかへす 繰り返す
 くりこし 繰越し(繰越金)
 くりさげ 繰下げ
 くりのへ 繰延べ
 くるしがる 苦しがる(苦しい)
 くるしさ 苦しさ
 くるしみ 苦しみ

くるしむ 苦しむ
 くるはせる 狂はせる(狂ふ)
 くるひ 狂ひ
 けつして 決して(決する)
 こがす 焦がす(焦げる)
 こがれる 焦がれる
 ころあたり 心當り
 ころがけ 心掛け
 ころみる 試みる
 ころもち名詞・副詞 心持名詞 心持ち副詞
 ころよい 快い
 こたへ 答
 ことごとく 悉く

ことさらに 故らに
 ことなる 異なる
 ことに 殊に
 このましい 好ましい(好む)
 このみ 好み
 このもしい 好もしい(好む)
 こひしい 戀しい(戀ひる)
 こひねがふ 希ふ
 こまかい 細かい(細い)
 こまかに 細かに
 こまやかに 細やかに 濃やかに
 こやす 肥やす(肥える)
 こらす 懲らす(懲りる)

ころがす 轉がす
 ころがる 轉がる
 ころばす 轉ばす(轉ぶ)
 さいはひ名詞・副詞 幸ひ名詞 幸ひ副詞
 さからふ 逆らふ
 さかり 盛り
 さがる 下がる(下げる)
 さかんに 盛んに
 さきだつ 先だつ
 さきんする 先んずる
 さしおさへ 差押
 さしつかへ 差支
 さしつかへる 差支へる

さそふ 誘ふ(誘ふ)
 さだまる 定まる(定める)
 さだめて 副詞 定めて
 さつかる 授かる(授ける)
 さます 冷ます(冷める) 覺ます
 (覺める) 醒ます(醒め
 る)
 さむけ 寒け
 さわがしう 騒がしい(騒ぐ)
 さわやかに 爽やかに
 しあはせ 仕合せ
 しあひ 仕合 試合
 しかし 併し

しかしながら 併しながら
 したがつて 副詞 従つて(従ふ)
 したしさ 親しさ(親しい)
 したしみ 親しみ
 したしむ 親しむ
 したたらす 滴らす(滴る)
 したはしい 慕はしい(慕ふ)
 しづかに 靜かに
 しづまる 靜まる(靜める) 鎮まる
 (鎮める)
 しはらひ 仕拂ひ 支拂ひ(支拂制
 限)
 しまり 締り

しまる 締まる(締める)
 しめだし 閉出し
 しらす 調へ(調)
 すぐ 直ぐ
 すぐに 直ぐに
 すくない 少い
 すくなくとも 少くとも
 すくなくない 少くない
 すくひ 救ひ
 すこし 少し
 すこす 過ごす(過ぎる)
 すこやかに 健やかに
 すでに 既に

すなはち 即ち
 すべて 總べて(總べる)
 すべらす 滑らす(滑る)
 すます 濟ます(濟む)
 すみやかに 速やかに
 せばまる 狭まる(狭める)
 そこなふ 害ふ 損ふ 賊ふ
 そなはる 備はる(備へる)
 そまる 染まる(染める)
 そらす 反らす(反る) 外らす
 たえず 副詞 絶えず(絶える)
 たがひに 互に
 たかまる 高まる(高い)(高める)

たからかに 高らかに
 たくみに 巧みに(巧む)
 たしかに 確かに
 たしかめる 確かめる
 たすかる 助かる(助ける)
 ただ 副詞 唯 只
 ただし 但し
 ただしがき 但書
 ただちに 直ちに
 たたまる 曇まる(曇む)
 ただよはす 漂はす(漂ふ)
 たちまち 忽ち
 たても 建物

たとへば 例へば(例へる)
 たのしさ 樂しさ(樂しい)
 たのしみ 樂しみ
 たのしむ 樂しむ
 たのもしい 頼もしい(頼む)
 たひらかに 平かに
 たひらげる 平げる
 たひらに 平に(平に)
 たまはる 賜はる(賜ふ)
 たまる 溜まる(溜める)
 たやす 絶やす(絶える)
 たより 便り(便る)
 たらす 垂らす(垂れる)

ちぢまる 縮まる(縮む)(縮める)
ちぢらす 縮らす(縮れる)
ちひさい 小さい
ちらす 散らす(散る)
ちいで 副詞 次いで(次々)
ついでには 就いては(就く)
つかさどる 司どる 掌る
つかはす 遣す
つぎに 次ぎに
つぎの 次の
つくす 盡す(盡きる)
つぐのふ 償ふ
つたない 拙い

つたはる 傳はる(傳ふ)(傳へる)
つとめさき 勤先
つとめにん 勤人
つながらり 繋り
つながらる 繋がる(繋ぐ)
つねに 常に
つひに 終に
つひやす 費す(費える)
つぶさに 具に
つまびらかに 詳らかに 審らかに
つまる 詰まる(詰める)
つめたい 冷たい
つもる 積る(積む)

つらなる 連なる(連ねる)(連れる)
つらぬく 貫ぬく
てあて 手當
てづから 手づから
てつづき 手續(手續問題)(入學手續)
てどり 手取
てもち 手持
てらす 照らす(照る)
とかす 溶かす(溶く)(溶ける)
とがらす 尖らす(尖る)
ときめく 時めく
とじまり 戸締り

とどけ 届
とどまる 止まる(止める) 留まる
となり 隣
とばす 飛ばす(飛ばす)
とひあはせ 問合せ
とひや 問屋
とほさかる 遠さかる(遠く)
とほさける 遠さける
とほのく 遠のく
とます 富ます(富む)
とまる 止まる(止める) 留まる

(留める) 停まる (停め
る)
 ともなふ
 伴なふ
 捕へる (捕る)
 取りあつかひ
 取扱ひ (事務取扱)
 取扱ふ
 取りけし
 取消
 とりしまり
 取締り (取締役)
 取調べ
 取次
 とりつぎ
 取計らひ
 取りはからひ
 取拂ひ
 とりひき
 取引

ながし 名詞
 ながらへる
 ながれ
 なげうり
 なげかはしい
 ながやか
 なごやかに
 なつかしい
 なつやすみ
 なほ
 なめらかに
 ならす
 ならはし
 ならびに
 流し (流れ)
 長らへる (長い)
 流れ
 投資り
 歎かはしい (歎く)
 和やかに
 懐かしい (懐く)
 夏休み
 尙ほ
 滑らかに
 馴らす (馴れる) 均す
 習はし
 並びに

なりたつ
 成り立つ
 ながす
 逃がす (逃げる) (逃がす)
 にぎはふ
 賑はふ
 にぎやかに
 賑やかに
 になふ
 荷なふ 擔ふ
 にはかに
 俄かに
 ぬかづく
 額づく
 ぬけだす
 抜け出す
 ぬらす
 濡らす (濡れる)
 ねがはしい
 願はしい (願ふ)
 ねがひ
 願ひ (賜願)
 ねんごろに
 懇に
 ねたましい
 妬ましい (妬む)

ねむけ
 のがす
 のこり
 のぞましい
 のつとる
 のぼす
 のりあひ
 のりおり
 のりこし
 ばかす
 はからひ
 はからふ
 はこび
 眠け (眠い)
 逃がす (逃がす)
 残り
 望ましい (望む)
 則とる
 延ばす (延びる)
 乗合
 乗り降り
 乗り越し
 化かす (化ける)
 計らひ
 計らふ (計る)
 運び (運)

はさまる 挟まる(挟む)
 はじまり 始まり
 はじまる 始まる(始める) 初まる
 (初める)
 はじめ 名詞・副詞 始め 初め
 はたして 果して
 はたす 果す
 はたらき 働き
 はづかしい 恥づかしい
 はづれる 外れる(外れる)
 はなし 話(話す)
 はなはだ 甚だ
 はなはだしい 甚だしい

はなやかに 華やかに
 はやす 生やす(生える)
 はらす 晴らす(晴れる)
 はらひこみ 拂込
 はるかに 遙かに
 はるめく 春めく
 はれやかに 晴れやかに
 ひあたり 日當り
 ひきあげ 引上げ
 ひきうけにん 引受人
 ひきうける 引受ける
 ひきかへ 引換(引換券) 引替
 ひきこみ 引込(引込線)

ひきさげ 引下げ
 ひきだし 引出し
 ひきつき 引継(事務引継)
 ひきとり 引取(引取人)
 ひきわけ 引分け
 ひそかに 私かに 密かに 陰かに
 ひづけ 日附
 ひっこし 引越
 ひっこみ 引込(引込思案)
 ひやかす 冷かす
 ひやす 冷やす(冷える)(冷ます)
 ひややかに 冷やかに
 ひらたい 平たい

ひろがる 廣がる(廣い)(廣げる)
 ひろまる 廣まる(廣める)
 ふかす 更かす(更ける)
 ふかまる 深まる(深い)(深める)
 ふさがる 塞がる(塞ぐ)
 ふたたび 再び
 ふたつ 二つ
 ふみきり 踏切
 ふやす 殖やす(殖える)
 ふりかへ 振替
 ふるふ 振ふ(振る) 震ふ
 ふるめかしい 古めかしい(古)
 へだたる 隔たる(隔てる)

へらす 減らす(減る)(減す)
 ほがらかに 朗らかに
 ほこり 誇り(誇る)
 ほつする 欲する
 ほとんど 殆ど
 ぼぼ 略す
 ほりだしもの 掘出物
 ほろぼす 亡ぼす(亡びる) 滅ぼす
 (滅びる)
 まうしあげる 申し上げる
 まうしあはせ 申合せ(申合事項)
 まうしいれ 申入れ
 まうしこみ 申込

まうしこむ 申し込む
 まかなふ 賄ふ
 まがる 曲る(曲げる)
 まぎらす 紛らす(紛れる)
 まことに 誠に
 まざる 雑ざる(雑る)(雑せる)
 まじはる 交はる(交る)(交へる)
 また 副詞・接續詞 又
 まちあはせ 待合せ
 まちあひ 待合(待合室)
 まづ 先づ
 まつたうする 全うする 完うする
 まつたく 全く

まぬかれる 免れる
 まひなふ 賂ふ
 まよはす 迷はす(迷ふ)
 みあはせ 見合せ
 みあひ 見合
 みおくり 見送り
 みじかい 短い
 みだし 見出し
 みたす 充たす(充つ)(充ちる)
 みづから 満たす(満つ)(満ちる)
 みつつ 自ら(自ら)
 みつもり 見積り

みとほし 見通し
 みのる 實のる
 みはらし 見晴し
 みまひ 見舞
 むかふ 向ふ(向く)
 むしろ 副詞 寧ろ
 むすび 結び(結ぶ)
 むなし 空しい
 むらがる 群がる
 めづらしい 珍しい
 もし 若し
 もしくは 若しくは
 もたらす 賄す

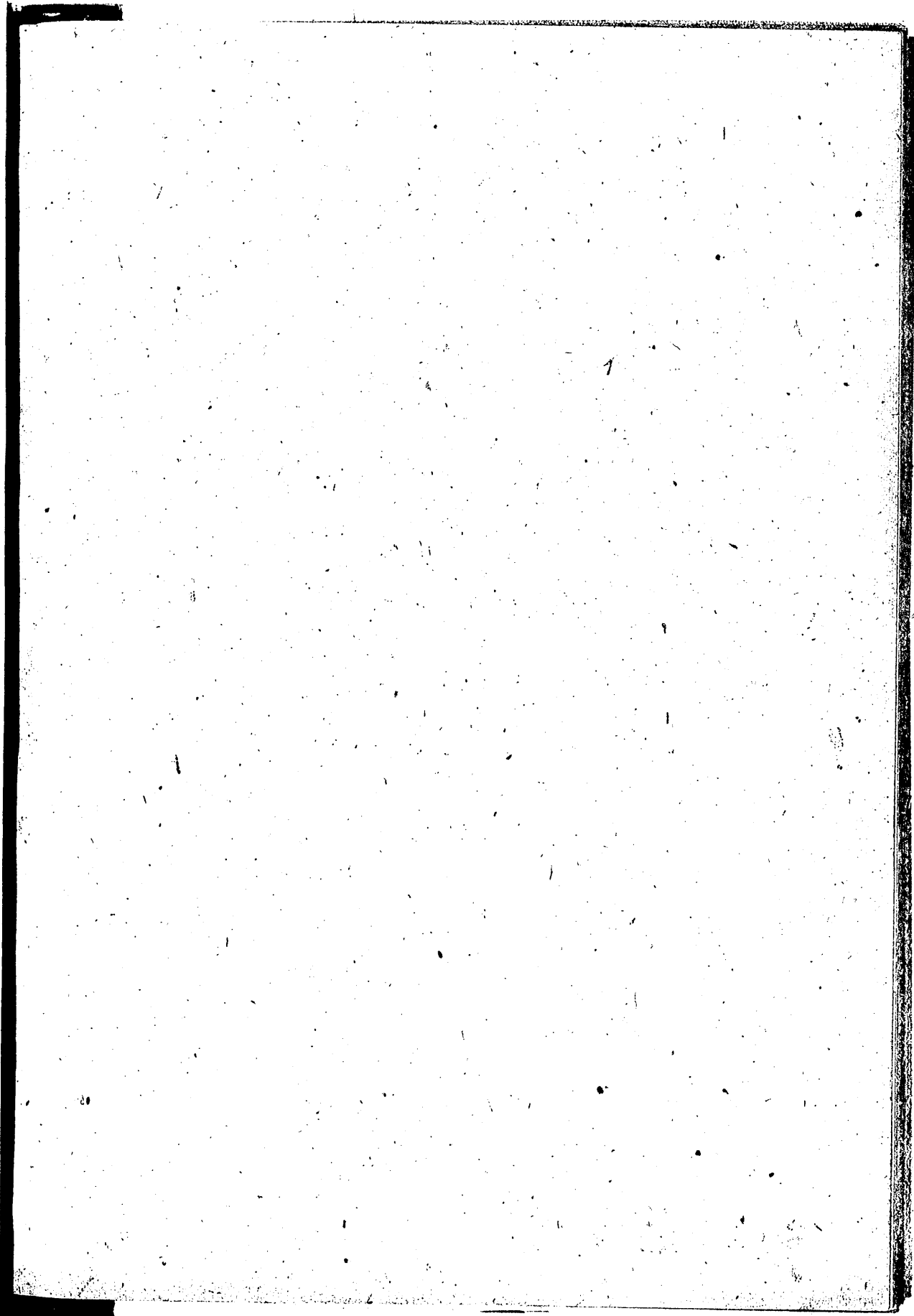
もちあはせ 持合せ
 もつて 以つて
 もつとも副詞・接續詞最も副詞尤も接續詞
 もつばら 専ら
 もとづく 基づく
 ものしり 物知り
 ものすき 物好き
 ものわらひ 物笑ひ
 もやす 燃やす(燃す)(燃える)
 やすんずる 安んずる(安い)
 やとひぬし 雇ひ主
 やはらかい(軟い) 乗らか
 (柔い)

やはらかに 軟らかに 柔らかに
 やはり 矢張り
 やや 稍
 ゆきすぎ 行き過ぎ
 ゆくへ 行方
 ゆたかに 豊かに
 ゆづりわたし 譲り渡し(讓渡)
 ゆびさす 指さす
 ゆるやかに 緩やかに(緩い)
 ゆゑに 故に
 よこたはる 横たはる
 よこたへる 横たへる
 よせがき 寄せ書

よせて 寄せ手
 よそほふ 装ふ
 よつて 因つて 依つて
 よびだし 呼出し(呼出電話)
 よみかき 読み書き(讀書)
 よみする 嘉する
 よりあひ 寄り合ひ
 よろこばす 喜ばす(喜ぶ)
 よろこび 喜び
 よわたり 世渡り
 よわまる 弱まる(弱い)(弱める)
 わかす 沸かす(沸く)
 わかつ 分つ(分ける)

わかれる 分れる 別れる
 わけめ 分け目
 わたし 名詞 渡し(渡り)
 わたりどり 渡り鳥
 わづか 僅か
 わづらはしい 煩はしい(煩ふ)
 わづらはす 煩はす
 わびしい 佗しい(佗びる)
 わらひごゑ 笑ひ聲
 わらひばなし 笑ひ話
 わりあて 割當
 わりあてる 割當てる
 ゑがく 畫かく 描く

をさない 幼い
をさまる 治まる(治める) 収まる
(収める) 修まる(修め
る)
をしげ 惜しげ(惜し)
をそはる 教はる(教へる)
をはる 終る(終へる)
をりかへしせん 折返線
をりかた 折り方
をりめ 折り目
をれめ 折れ目



II-98